

## 塗装仕様書 <改修> 室内用高拡散反射塗料

素材 コンクリート、モルタル  
内外区分 内部  
部位 壁面  
仕上げ 平滑

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	下地調整仕様による。						
下塗り	アカルクス 下塗	1	0.10~0.12	2時間以上	水道水	5~10	はけ、ウールローラー、 エアレスプレー
上塗り	アカルクス	2	0.11~0.13	3時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー

- ・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
- ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

## 施工上の要点・注意事項

### 【下塗り(アカルクス 下塗り)】

- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。

### 【上塗り(アカルクス)】

- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りとは仕上がりが異なります。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 下地にタバコのやに汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーを塗装してください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 塗装方法により色相が多少変化しますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムバックキ、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接接触することがないようにご注意ください。

### 【仕様全般】

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- 吸音板塗り替え用顔料分塗材(シールマット など)の塗り替えには使用できません。
- 塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくる場合がありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。

- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス)には塗装できません。塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.

この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。